

CASIO®

3465 * JA

取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

！警告

スキューバダイビングに使用しない

- ⊗ 本機をスキューバダイビングに使用しない。

本機はダイブズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

- ⊗ 本機を分解・改造しない。けがの原因となります。

！注意

お手入れについて

- ケース・バンドは常に清潔にして使う。ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

- ！ 時計の本体およびバンドは、**直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。**

- 金属・皮革に対するアレルギー
- 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
- 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ご使用にあたって

- ！ 時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

- ！ 時計の着脱に注意する。バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

- ！ 就寝時は時計を外す。思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

- ！ 小さなお子様と接するときは、時計を外す。お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

- ！ 電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。そのままにしておくと、故障の原因となることがあります。

- ！ 時計本体（裏ぶたを含む）やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

■この時計の特長

- ワールドタイム
- タイマー
- ストップウォッチ
- アラーム（5本）・時報

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

！危険

！警告

死軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

- ！ △記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。

- ⊘ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

- ！ ●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。

！危険

電池について

- ⊘ ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

ご使用上の注意

- 防水性**
 - 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿度の多い場所のご使用や直接肌に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - ・「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうすやボタンを操作すること
 - ・入浴のときに使用すること
 - ・温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用するこ
 - ・時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なバックン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがあります。皮革バンド付の状態は、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることにより曇る時間が長くなることがあります。なお、曇りが消えなかつたり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕を持たせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、腫み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
- ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-M5）は腕につけたままでチーンズーナーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破壊する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破壊する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破壊を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 鍍金商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。

- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
 - 注意：皮革バンドは、摩擦、汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にして使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

	万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求に対しても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
---------------	---

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣類同様、直接肌につけるのもです。長くお使いいただくために、汚れ、汗、水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。
- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうすやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうすや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■お手入れを怠ると

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - ・汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

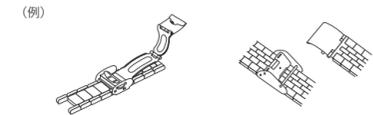
●樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿度の高い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

●皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店へお相談ください。なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。



電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行う前にご返却する旨のご案内をさせていただきます。あらかじめご了承ください。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がご購入になるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

ライト点灯について

セツト中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、ⓐボタンを押すと、ライトが点灯します。
⇒暗いところでも、表示を見ることができます。



■ご注意

- 直射日光下では、ライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にⓐボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどの電子音が鳴ると、点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

■ライト点灯時間の切り替え

- セツト状態にする時刻モードのとき、

- ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます
- 秒が点滅します。

- 点灯時間を選ぶ

- ⓑ ボタンを押します

- ⇒ⓑ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。
- ・❖マーク＝約 1.5 秒間
- ・❖マーク＝約 3 秒間

- セツトを終わる

- ⓐ ボタンを押します

- ⇒点滅が止まり、セツト完了です。
- ・点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

操作音について

モード切り替え時などに鳴る操作音の ON / OFF を切り替えることができます。

■操作音の ON / OFF 設定

セツト中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、

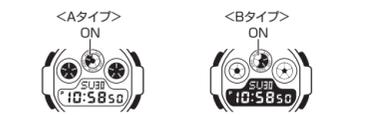
- Ⓒ ボタンを約 3 秒間押し続けます

- ⇒確認音が鳴り、操作音の ON / OFF が切り替わります。

- ・操作音を OFF にしているときは、MUTE マークが点灯します。
- ・操作音が OFF でも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音は鳴ります。

液晶表示について

本書は A タイプの液晶表示で説明しております。日タイプ（反転液晶）をお使いの場合は、A タイプで各インジケーター（マーク）がオンのときに点灯するところが白くになると置き換えてご覧ください。



製品仕様

精 度：平均月差± 15 秒
基本機能：時・分・秒・日・曜日
午前／午後（P）／24 時間制表示
フルオートカレンダー（2000～2099 年）
サマータイム設定機能

ワールドタイム機能：世界 48 都市（29 タイムゾーン）の時刻を表示
サマータイム設定機能

ストップウォッチ機能：計測単位 1/100 秒
計測範囲 59分59秒 99(60分計)
計測機能 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測

タイマー機能：セツト単位 1分、計測範囲 24 時間、計測単位 1 秒、タイムアップを 10 秒間の電子音で報知

アラーム機能：時刻アラーム
アラーム数 5 本(うち、スヌーズ 1 本)
セツト単位 時・分
アラーム報音時間 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

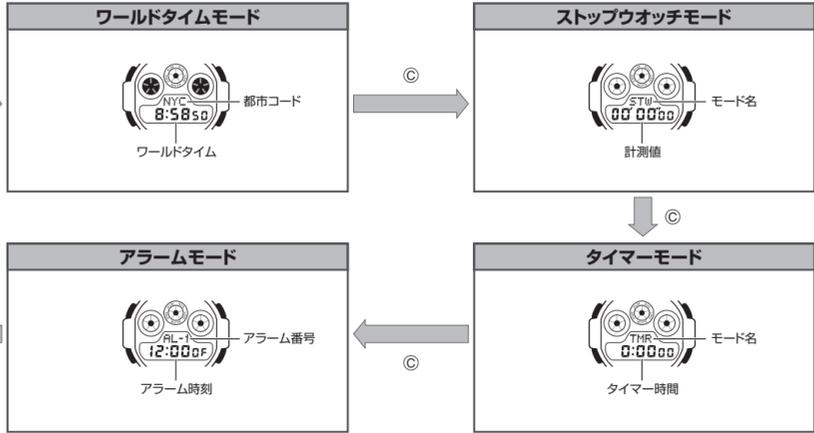
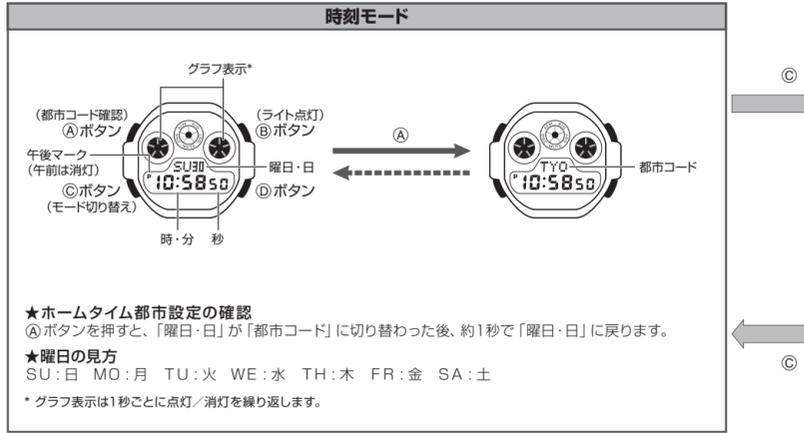
その他：自動復帰機能、12/24 時間制表示切り替え、EL バックライト、ライト点灯時間切り替え、モニターアラーム、操作音 ON/OFF 切り替え

使用電池：CR2025 1 個（電池別途販売）
電池寿命：約 5 年
（電子音 10 秒間/日、ライト 1.5 秒間/日）

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
・アラームモードのまま 2〜3 分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界 48 都市 (29 タイムゾーン) の時刻を簡単に知ることができます。

- ・ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
- ・ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
- ・ホームタイム (基本時刻) を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

■ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
・確認については「操作のしくみと表示の見方」参照、セットについては「時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

◎ ボタンを押します

- ◎ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
- ・◎ ボタンを押し続けると早送りします。



サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

サマータイムの ON / OFF 設定

準備: ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→サマータイムの ON / OFF が切り替わります。
・サマータイムが ON のときは、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

- ・各都市ごとにサマータイムを設定することができます。
- ・ホームタイムで設定している都市をサマータイム ON にしたときは、ホームタイム (基本時刻) もサマータイム ON になります。

都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パコパコ	IST	+2	イスタンブール
HNL	-10	ホノルル	CAI	+2	カイロ
ANC	-9	アソカレジ	JRS	+2	エルサレム
YVR	-8	バンクーバー	MOW	+3	モスクワ
SFO	-8	サンフランシスコ	JED	+3	ジェッダ
LAX	-8	ロサンゼルス	THR	+3.5	テヘラン
DEN	-7	デンバー	DXB	+4	ドバイ
MEX	-6	メキシコシティ	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
MIA	-5	マイアミ	MLE	+5	マレー
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
YYT	-3.5	セントジョンズ	RGH	+6.5	ヤンゴン
RIO	-3	リオデジャネイロ	BKK	+7	バンコク
RAI	-1	ブライア	SIN	+8	シンガポール
LIS	0	リスボン	HKG	+8	香港
LON	0	ロンドン	BJS	+8	北京
BCN	+1	バルセロナ	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	TYO	+9	東京
MIL	+1	ミラノ	ADL	+9.5	アデレード
ROM	+1	ローマ	GUM	+10	グアム
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
JNB	+2	ヨハネスブルグ	WLG	+12	ウェリントン

- ・この表は 2018 年 1 月現在作成のものです。
- ・この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

タイマーの使い方

タイマーは 1 分単位で 24 時間までセットできます。セットした時間を経過 (タイムアップ) すると、10 秒間電子音が鳴ります。

タイマー時間のセット

1. セット状態にする

タイマーモード (計測リセット状態) のとき、

◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

- 「時」が点滅します。

2. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

3. 点滅箇所のセット

◎ または ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

- ・◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 2. ~ 3. の操作を繰り返して、タイマー時間をセットします。

- ・タイマー時間を 24 時間に設定するときは、表示を「0:00」にします。

4. セットを終わる

◎ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

- ・点滅表示のまま 2〜3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

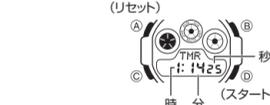
タイマーの使い方 (減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

- ・計測は 1 秒単位で行います。
- ・グラフ表示は計測値に連動して、点灯/消灯を繰り返します。



- ★計測ストップ後 (A) ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。
- ★ロスタイムがあるときは、◎ ボタンでストップ後、もう一度 ◎ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10 秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせてくれます。

鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

アラーム・時報の使い方

アラームについて

●通常アラーム (AL1 ~ AL4)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。セットしたい箇所を点滅させます。

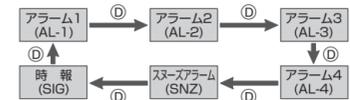
アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



2. セット状態にする

◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→「時」が点滅します。

- ・アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

「秒」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→「秒」が点滅します。

2. 時報に合わせて ◎ ボタンを押します

→「00 秒」からスタートします。

・秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります (時報は「時報サービス 117 番」が便利です)。

3. セットを終わる

◎ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

- ・点滅表示のまま 2〜3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

「時刻・カレンダー」合わせ

1. セット状態にする

時刻モードのとき、◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→「秒」が点滅します。

2. ホームタイム都市を選ぶ

◎ ボタンを押します

→都市コードが点滅します。

◎ または ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに都市コードが進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります (「都市コード一覧」参照)。

- ・◎・◎ ボタンとも、押し続けると早送りします。

例) 東京 (日本) の時刻に合わせるときは、都市コードを「TYO」に設定します。

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99 (60 分計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

- ・グラフ表示は計測値に連動して、点灯/消灯を繰り返します。



- ★計測中に (A) ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります (「SPL」表示)。
- ・スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- ★計測終了後 (A) ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

「操作のしくみと表示の見方」にしたいが ◎ ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

●通常計測

◎ → ◎ → (A)

スタート ストップ リセット

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに ◎ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム (途中経過時間) の計測

◎ → ◎ → (A) → ◎ → ◎ → ◎ → ◎ → (A)

スタート スプリット スプリット ストップ リセット



●1・2 着同時計測

◎ → ◎ → ◎ → ◎ → ◎ → ◎ → (A)

スタート 1 着ゴール (1 着タイム表示) 2 着ゴール 2 着タイム表示 リセット

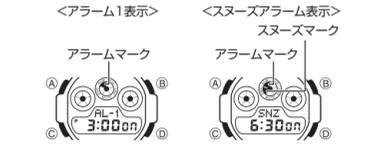
アラームの ON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、◎ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。

- ・アラームマークが点灯しているときに ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- ・スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します (スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します)。
- ・スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行いますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
 - スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
 - スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
 - 時刻モードでセット状態にしたとき。



サマータイム (DST) の ON / OFF 設定

◎ ボタンを押します

→DST マークと On または OF が点滅します。

◎ ボタンを押します

→ON / OFF が切り替わります。

- ・OF = サマータイム OFF (通常時間)
- ・On = サマータイム ON (夏時間)
- ・サマータイムを ON にすると、通常の時刻より 1 時間早まり、時刻モードとアラームモードで DST マークが点灯します (サマータイムについては「サマータイム (DST) について」参照)。

「時刻・カレンダー」合わせ

a. ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。

→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所を点滅させます。



5. セットを終わる

◎ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

- ・点滅表示のまま 2〜3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

モニターアラーム

アラームモードで ◎ ボタンを押し続けると、押ししている間、電子音が鳴ります。

●時報について

毎正時 (00 分のとき) に「ビッピッ」と電子音を鳴らすことができます。

●時報の ON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、◎ ボタンを押して、時報表示を選びます。

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに、時報の ON / OFF が切り替わります。

- ・時報マークが点灯しているときに ON となり、時報が鳴ります。

